



## 平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月11日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東  
 コード番号 4343 URL http://fantasy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスク (氏名) 新田 悟 TEL 043 (212) 6203  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	47,312	12.3	1,933	74.8	1,751	109.9	662	167.9
28年2月期第3四半期	42,118	23.5	1,105	△42.8	834	△64.4	247	△71.1

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 371百万円 (-%) 28年2月期第3四半期 △10百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	33.65	33.53
28年2月期第3四半期	12.91	12.86

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	42,444	24,535	57.0
28年2月期	41,040	24,744	59.5

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 24,207百万円 28年2月期 24,408百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年2月期	—	15.00	—		
29年2月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	10.5	3,050	11.0	2,750	4.5	1,620	9.4	83.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期3Q	19,713,825株	28年2月期	19,713,825株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	14,148株	28年2月期	20,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期3Q	19,697,511株	28年2月期3Q	19,173,020株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2017年2月期は、2016年2月期後半より好調である国内事業を着実に増益基調へ転換し、黒字化した海外事業については積極的な拡大を図るべく取り組んでおります。主に、国内事業はネットを利用したプロモーションへのシフト、旧ファンフィールド店舗の活性化、スクラップ&ビルドの推進に取り組みました。また、海外事業は積極的な出店を推進し当第3四半期連結会計期間末で332店舗（前年同期末259店舗）と事業規模を拡大しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は473億12百万円（前年同期比12.3%増）と国内既存店が好調であること、2015年6月の株式会社ファンフィールドとの合併効果、及び海外事業の積極出店による売上拡大により第3四半期連結累計期間では過去最高となりました。営業利益は19億33百万円（同74.8%増）、経常利益は17億51百万円（同109.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億62百万円（同167.9%増）となりいずれも大幅増益を達成いたしました。

## (国内事業)

国内事業では、遊戯機械売上の既存店伸び率が2015年9月からプラスに転じ1年を経過いたしました。引き続き好調に推移し当第3四半期連結会計期間の既存店伸び率は6.7%増となりました。商品売上は9月に31ヶ月ぶりに既存店伸び率がプラスに転じ、当第3四半期連結会計期間の既存店伸び率は7.3%増となりました。

従来は店内イベント中心のプロモーションを実施してまいりましたが、本年度はSNSマーケティングの強化や会員制アプリの開始等、ネットを利用したプロモーションへシフトいたしました。

10月より全店で専用端末によるWAON POINTの来店ポイントサービスを開始いたしました。10月は延べ10万3千人、11月は延べ38万1千人のお客さまにご利用いただいております。

2015年6月の合併により受け入れました旧ファンフィールド店舗は、遊戯機械の積極的な改廃による鮮度の向上や「モーリーファンタジー」ブランドへの変更を推進いたしました。その結果旧ファンフィールド店舗は、7月から売上高既存店伸び率がプラスとなり、営業利益は当第3四半期連結累計期間で1億41百万円（前年同期差1億65百万円増）と利益貢献しております。

また店舗のスクラップ&ビルドを積極的に推進し、当第3四半期連結累計期間では19店舗の閉店と11店舗の新規出店、34店舗の大型活性化を実施いたしました。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高400億70百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益21億89百万円（同76.9%増）となりました。

## (海外事業)

海外事業では当第3四半期連結累計期間に6ヶ国で59店舗の新規出店を実施いたしました。

中国では、当第3四半期連結累計期間に31店舗の出店を行いました。売上指数が低い第3四半期連結会計期間は構造上営業損失となっておりますが計画通りの進捗です。またアプリ会員システムの会員数が11月末で68万5千人となり、アプリ経由での売上が40%を超える水準となっております。このアプリ会員システムを評価いただき、11月に中国チェーンストア経営協会より「イノベーション・お客さま体験革新賞」を受賞いたしました。

アセアン諸国では、当第3四半期連結累計期間に28店舗の出店を行い、増収を達成するとともに営業利益も改善しております。マレーシアは2016年1月より売上高既存店伸び率が11ヶ月連続でプラスとなり、営業利益も増益と好調に推移しております。また11月にマレーシアでは1号店となるテーマ型インドアプレイグラウンド「FANPEKKA」をジョホール州にオープンし計画を上回るスタートとなっております。タイは、活性化モデル店舗のノウハウを水平展開し10月・11月と既存店伸び率がプラスに転換いたしました。フィリピンは当第3四半期連結累計期間に12店舗を出店し、総店舗数も26店舗となり順調に拡大しております。

海外における店舗数は、当第3四半期連結会計期間末で332店舗（直営店318店舗、FC等14店舗、前年同期末259店舗）となりました。

以上の結果、海外事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高72億40百万円（前年同期比16.2%増）、営業損失は2億56百万円（前年同期営業損失1億31百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、101億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億34百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加（8億17百万円）や、売上拡大等に伴う売上預け金の増加（5億34百万円）であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、322億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。主な内訳は、減価償却費の計上等による有形固定資産の減少（40百万円）であります。

この結果、総資産は424億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、107億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億42百万円減少いたしました。主な内訳は、短期借入金の減少(14億30百万円)や地代家賃等の計上に伴う未払費用の増加(8億78百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、71億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億55百万円増加いたしました。主な内訳は、海外子会社における長期借入金の増加(18億24百万円)であります。

この結果、負債合計は179億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億13百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、245億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少いたしました。主な内訳は、利益剰余金の増加(71百万円)や、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少(2億89百万円)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月13日公表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後に実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (会計上の見積りの変更)

従来より、当社が保有する有形固定資産のその他(工具、器具及び備品)の耐用年数については、各資産の使用実態を勘案して2~6年の範囲内で減価償却を行ってきましたが、過去実績に基づき使用期間を見直した結果、一部の工具、器具及び備品について従来の耐用年数よりも長期間使用する見込であることが明らかとなったため、耐用年数の範囲を2~8年に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が70,452千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

## (追加情報)

## (法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、平成29年3月1日以後に開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等について、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が従来の31.9%から30.7%に変更されました。また、平成31年3月1日以後に開始する連結会計年度以降において解消が

見込まれる一時差異等について、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が、31.9%から30.5%に変更されました。

この税率変更により、繰延税金資産の純額は36,324千円減少し、法人税等調整額(貸方)が36,808千円減少し、その他有価証券評価差額金(貸方)が484千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,724,795	4,542,115
売掛金	337,141	275,498
売上預け金	459,572	993,619
たな卸資産	2,217,172	2,269,318
その他	1,977,787	2,070,113
流動資産合計	8,716,470	10,150,664
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,768,294	6,697,622
遊戯機械(純額)	18,799,584	17,686,290
その他(純額)	1,748,051	1,891,046
有形固定資産合計	26,315,930	26,274,959
無形固定資産		
のれん	235,230	189,645
ソフトウェア	524,305	571,205
その他	7,366	6,122
無形固定資産合計	766,901	766,973
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	3,790,656	3,873,085
その他	1,450,725	1,379,206
投資その他の資産合計	5,241,381	5,252,291
固定資産合計	32,324,213	32,294,224
資産合計	41,040,684	42,444,889
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,159,724	1,498,203
短期借入金	1,430,678	-
1年内返済予定の長期借入金	404,887	405,259
未払費用	1,553,955	2,432,697
未払法人税等	98,753	887,947
賞与引当金	290,594	644,861
役員業績報酬引当金	36,695	55,783
閉店損失引当金	28,911	59,682
設備関係支払手形	1,974,987	1,483,738
その他	4,152,706	3,321,347
流動負債合計	11,131,894	10,789,521
固定負債		
長期借入金	4,271,999	6,096,098
退職給付に係る負債	331,302	316,832
資産除去債務	429,131	464,851
その他	132,283	242,323
固定負債合計	5,164,718	7,120,105
負債合計	16,296,612	17,909,627

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	4,779,539	4,773,849
利益剰余金	18,052,429	18,124,371
自己株式	△32,968	△22,783
株主資本合計	24,546,139	24,622,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,379	24,033
為替換算調整勘定	26,705	△263,187
退職給付に係る調整累計額	△188,596	△176,169
その他の包括利益累計額合計	△137,510	△415,324
新株予約権	90,005	100,283
非支配株主持分	245,438	227,727
純資産合計	24,744,072	24,535,262
負債純資産合計	41,040,684	42,444,889



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	42,118,657	47,312,594
売上原価	38,170,226	42,291,762
売上総利益	3,948,431	5,020,832
販売費及び一般管理費	2,842,685	3,087,729
営業利益	1,105,745	1,933,102
営業外収益		
受取利息	28,425	31,172
固定資産売却益	117,527	9,954
その他	47,120	32,558
営業外収益合計	193,073	73,685
営業外費用		
支払利息	37,939	178,757
為替差損	293,171	21,082
固定資産売却損	77,922	28,733
合併関連費用	20,913	-
その他	34,033	26,261
営業外費用合計	463,979	254,834
経常利益	834,839	1,751,952
特別利益		
受取保険金	-	48,971
特別利益合計	-	48,971
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	14,085	52,187
減損損失	82,981	115,190
災害による損失	-	28,017
店舗閉鎖損失	22,317	54,823
その他	11,508	-
特別損失合計	130,893	250,219
税金等調整前四半期純利益	703,945	1,550,705
法人税、住民税及び事業税	840,196	1,259,643
法人税等調整額	△375,752	△373,963
法人税等合計	464,443	885,679
四半期純利益	239,502	665,025
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,930	2,190
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,432	662,835

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	239,502	665,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,832	△346
為替換算調整勘定	△258,799	△305,700
退職給付に係る調整額	4,728	12,426
その他の包括利益合計	△250,238	△293,620
四半期包括利益	△10,736	371,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,501	385,021
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,237	△13,616

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,888,510	6,230,146	42,118,657	-	42,118,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,246	-	34,246	△34,246	-
計	35,922,757	6,230,146	42,152,903	△34,246	42,118,657
セグメント利益又は損失(△)	1,237,475	△131,730	1,105,745	-	1,105,745

(注) 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する事項

前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の「国内」セグメントの資産は、92億48百万円増加しております。

主な増加要因は、平成27年6月1日付けで、株式会社ファンフィールドを吸収合併し、63億45百万円の資産を受け入れたことによるものであります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメントにおいて、58,458千円の減損損失を計上しており、「海外」セグメントにおいて24,523千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,071,655	7,240,939	47,312,594	-	47,312,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△1,646	-	△1,646	1,646	-
計	40,070,008	7,240,939	47,310,947	1,646	47,312,594
セグメント利益又は損失(△)	2,189,112	△256,010	1,933,102	-	1,933,102

(注) 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社は、一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更により、当第3四半期連結累計期間の「国内」のセグメント利益は70,452千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメントにおいて、19,267千円の減損損失を計上しており、「海外」セグメントにおいて95,922千円の減損損失を計上しております。